

今後の検討の進め方（案）

1 航空監視システム作業班

(1) ADS-B

資料 10-合作 1-3 の「4 審議スケジュール」のとおり。

(2) ADS-B以外

「SSRモードS等の無線設備に関する技術的条件」（昭和63年7月電気通信技術審議会一部答申）について、策定後約20年間のICAO等における国際標準化動向及び国内導入実績・計画等を踏まえた各項目毎の改正の有無及び改正内容等を、今年度中を目途に検討。

なお、ADS-Bに係る項目については、上記1の(1)のとおり。

2 航空無線電話・航法システム作業班

(1) 航空無線電話システム

完全ナロー化時のチャンネルプラン策定を目指し、その途中の25kHzステップと8.33kHzステップの混在期間におけるチャンネルプラン策定も視野に入れ、国内動向（羽田空港の滑走路拡張、ドクターヘリの整備計画、オープンスカイ政策等）及び国際動向（ICAO等における標準化、諸外国のナロー化／デジタル化導入実績・計画等）等を踏まえた周波数選定方法の策定（無線設備に関する技術的条件の改正の有無及び改正内容等並びに適切な検討期間及び導入時期等の検討を含む。）。

(2) 航法システム

より高密度な置局を可能とする周波数利用効率の向上方策を取り入れたチャンネルプラン策定を目指し、上記2の(1)同様、国内動向及び国際動向等を踏まえた周波数選定方法（特にX/Y等チャンネルの優先順位等）の策定（無線設備に関する技術的条件の改正の有無及び改正内容等並びに適切な検討期間及び導入時期等の検討を含む。）。